



ART WRITING

No.9 2015

本誌は、筑波大学芸術専門学群芸術学専攻芸術支援コース、筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻芸術支援領域、博士後期課程芸術専攻芸術学領域における教育の一環として発刊するものです。

「特別寄稿」は、芸術支援の現場で活動する卒業生からの報告です。取手アートプロジェクトの羽原康江さんから寄稿いただきました。「つくばアートフィールド」は、学群の芸術支援コース専門科目「芸術支援学 IIC」(授業担当：直江俊雄)の一環として、学生たちが取材

した記事をまとめたもので、筑波大学で今育ちつつあるアーティストを紹介しします。

「研究ノート」では、学群4年生、博士前期課程・後期課程の大学院生がそれぞれの研究で取り組んでいるテーマを紹介しします。

学生の取材・執筆に当たり、多くの皆様にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

岡崎 昭夫 齊藤 泰嘉 直江 俊雄

/// Contents

1 特別寄稿

04 フェスティバルから日常へ
移り変わるアートプロジェクトの在り様を捉えて
羽原 康恵

2 つくばアートフィールド Artist × Writer

06 日常の一コマを切り出す
A 松井 千夏 × W 高橋 和佳奈

08 土と人の手で生み出せるもの
A 村井 隆宏 × W 千葉 加奈子

10 美術史から、拡がる視点
A 高橋 翔 × W 古谷 美也子

12 洋画部屋の住人
A 門岡 佑衣 河原 由佳 × W 秋葉 菜々美
佐々木 七海 山崎 玲香

14 クルマのカタチ、夢のカタチ、スケッチ中。
A 飯泉 麻衣 × W 有須 千夏

16 アーティストの卵のたまご
A 田中 夏海 × W 大谷 友子

18 わたしのすきなこと 作品制作に映る無自覚な自分
A 市川 由佳 × W 岸元 穂菜美

20 広くて浅い世界 目指すもの、好きなこと
A 小谷 恵子 × W 是永 紫帆

3 研究ノート

芸術専門学群芸術学専攻芸術支援コース4年

22 プロジェクトが生むプロジェクト
愛知、新潟、茨城のアートプロジェクトを事例として
岡野 恵未子

23 Bゼミ
その歩みと講義記録の活用
高木 諒一

博士前期課程芸術専攻芸術支援領域1年

24 美術館における体験型作品の
鑑賞支援効果の有用性について
阿部 美里

25 小中連携による美術教育の研究
茨城県古河市における調査と実践事例を通して
光山 明

26 学校と美術館の連携による書の鑑賞について
徳田 真奈美

27 日本の博物館が所蔵する
南蛮美術コレクションに関する研究
Research on Namban Art Collections in Japanese Museums
ロメロ・アナ・テレサ・ギマラエス
ROMERO Ana Teresa Guimaraes

博士前期課程芸術専攻芸術支援領域2年

28 “プロジェクト型”アートプロジェクトの可能性
郊外地域活性化を主眼として
赤木 紗菜

29 「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ」
に関する研究
村上 綾

30 シュタイナー学校における造形教育の特質
特にニュルンベルク・シュタイナー学校に着目して
吉田 奈穂子

31 江戸東京博物館と江戸東京たてももの園における
教育普及活動の方法論
Museum Educational Methods Used in Edo-Tokyo Museum and Edo-Tokyo Open-Air Architectural Museum
ボージョー・レーカ
Bózsó Réka

博士後期課程芸術専攻芸術学領域1年

32 東京府美術館で開催された
「仏蘭西国立リュクサンブール美術館蔵品 特別出品」
フランスからの初めての貸出展示がどのように実現されたか
中川 三千代

博士後期課程芸術専攻芸術学領域2年

33 イスラム世界の教師たちが語る美術教育
箕輪 佳奈恵

34 美術教師の芸術教養と教育教養
美術専門家から美術教育家への転換
徐 英杰

博士後期課程芸術専攻芸術学領域3年

35 データの声に耳を澄ます楽しみ
題材ルーブリックの協同的な開発過程に関する
質的研究を通して
佐藤 絵里子



ART WRITING No.9 2015